

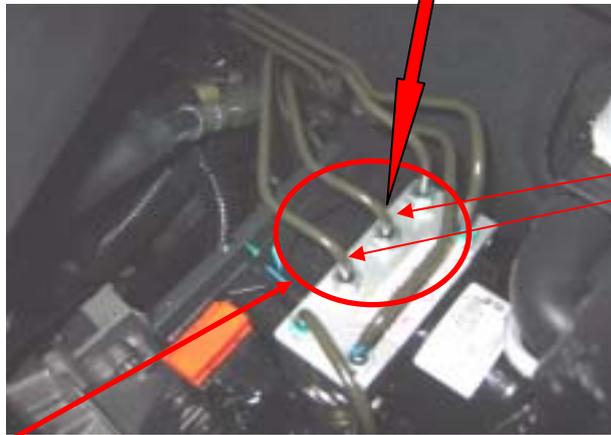
リコール届出番号	外 - 1232	リコール開始日	平成17年6月16日
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	<p>アンチロック・ブレーキ・システム（ABS）の後輪ブレーキパイプを左右誤って取付けたものがある。そのため、ABSを作動させるような制動を行うと、後車輪の制動が左右逆にかかり、車両の挙動を正しく制御できなくなるおそれがある。</p> <p>制動装置のマスタシリンダにおいて、ブレーキパイプの組み付け順序を間違えたものがあるため、パワーステアリングパイプとの隙間が少ないものがある。そのため、走行時の振動等により当該ブレーキパイプとパワーステアリングパイプが干渉することがあり、そのまま使用を続けると、当該ブレーキパイプが損傷してブレーキ液が漏れ、最悪の場合、制動力が低下するおそれがある。</p>		
改善措置の内容	<p>全車両、ABSユニットの配管を点検し、誤ってブレーキパイプが取付けされている場合は正しく取付ける。</p> <p>全車両、当該ブレーキパイプを点検し、パワーステアリングパイプとの隙間が少ない場合および、当該ブレーキパイプに損傷が認められた場合は新品と交換する。</p>		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号（シリアル番号）の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
ヒュンダイ	GF-XG30	XG	KMHFU41DR2A118947 ～ KMHFU41DR2A 197864 平成13年3月26日～平成14年4月18日	1422	該当不 具合 、
	GH-XG30		KMHFU41DR3A210870 ～ KMHFU41DR3A 295159 平成14年6月27日～平成15年5月30日	769	
	GH-TXG30		KMHFU41DR4A302961 ～ KMHFU41DR 5A395730 平成15年8月13日～平成16年11月18日	389	
	GH-TXG25		KMHFU41CR4A337413 ～ KMHFU41CR 5A391085 平成16年1月29日～平成16年11月16日	742	該当不 具合
合 計				3,322 台	

リコール対象車の主要諸元

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式（総排気量（cc））	備考
ヒュンダイ	GF-XG30	XG	普通・乗用	箱型	G6CT（2,972）	
	GH-XG30					
	GH-TXG30					
	GH-TXG25				G6BV（2,493）	

## 改善箇所説明図



ブレーキパイプ

注：  は再組付け部品を示す。

### 基準不適合発生箇所

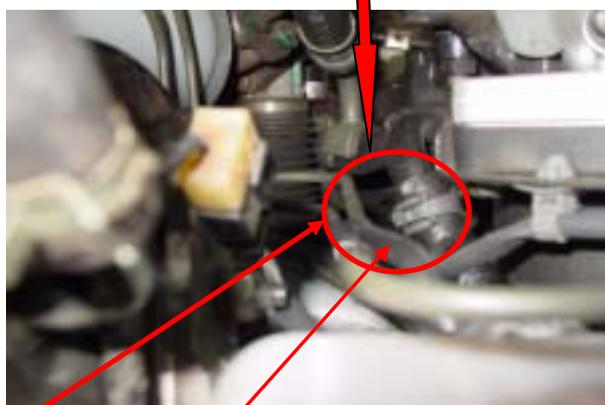
アンチロック・ブレーキ・システム(ABS)の後輪ブレーキパイプを左右誤って取付けたものがある。そのため、ABSを作動させるような制動を行うと、後車輪の制動が左右逆にかかり、車両の挙動を正しく制御できなくなるおそれがある。

### 改善の内容

全車両、ABSユニットの配管を点検し、誤ってブレーキパイプが取付けされている場合は正しく取付ける。

識別：ABS ブレーキパイプ1本に黄色ペイントを塗布する。

## 改善箇所説明図



ブレーキパイプ

注：  は交換部品を示す。

基準不適合発生箇所

制動装置のマスタシリンダにおいて、ブレーキパイプの組み付け順序を間違っただけのものがあるため、パワーステアリングパイプとの隙間が少ないものがある。そのため、走行時の振動等により当該ブレーキパイプとパワーステアリングパイプが干渉することがあり、そのまま使用を続けると、当該ブレーキパイプが損傷してブレーキ液が漏れ、最悪の場合、制動力が低下するおそれがある。

### 改善の内容

全車両、当該ブレーキパイプを点検し、パワーステアリングパイプとの隙間が少ない場合および、当該ブレーキパイプに損傷が認められた場合は新品と交換する。

識別：ABS ブレーキパイプ 2 本に黄色ペイントを塗布する。